

第22回 環境コミュニケーション大賞



作品募集

POINT 1 すべての応募事業者に**審査員からフィードバック**

POINT 2 受賞企業には**ロゴマーク**を提供

募集期間 **平成30年 10月 5日(金) ~ 11月 5日(月)消印有効**
表彰式 平成31年 2月20日(水) (会場 品川プリンスホテル)

募集対象

〈環境報告書部門〉

事業者の環境報告書
CSR報告書や
統合報告書などを含む

〈環境経営レポート部門〉

「エコアクション21」
認証・登録事業者の
環境経営レポート
環境活動レポート



主催 環境省 一般財団法人 地球・人間環境フォーラム
協賛 一般社団法人 サステナビリティ情報審査協会
協力 日本公認会計士協会 一般財団法人 持続性推進機構
後援 全国中小企業団体中央会 日本商工会議所 公益社団法人 経済同友会
一般社団法人 日本経済団体連合会 株式会社 東洋経済新報社
株式会社 日本取引所グループ



『環境コミュニケーション大賞』とは...

CSR報告書や統合報告書を含む優れた環境報告書、環境経営レポートなどを表彰することで、事業者を取り巻く関係者との環境コミュニケーションを促進し、環境への取組が一層活性化することを目的とする表彰制度です。

受賞者には、受賞のPRに活用いただけるロゴマークを提供するほか、全応募者に報告書、レポートの内容に関するフィードバックを個別に送付します。表彰は、事業者の環境報告書などを対象とする「環境報告書部門」と、エコアクション21認証・登録事業者の環境経営レポート（環境活動レポート）を対象とする「環境経営レポート部門」の2部門で開催します。

募集要項・応募方法

募集要項・応募方法など

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

https://www.gef.or.jp/news/info/22th_ecom/



審査委員長メッセージ



横浜国立大学大学院
国際社会科学研究院 教授
八木 裕之氏

日本では、気候変動対策やSDGsの実現に向けて、具体的な政策や方向性が明らかになってきました。TCFD提言、SBT、RE100なども大きな注目を集めています。企業の環境情報の開示では、環境問題などの社会的課題に対して、将来のリスクや機会をどのように捉えて評価し、事業活動の中でどのように取り組むのか、自社のオリジナルシナリオを語る事が大事になっています。環境報告ガイドライン2018年版やエコアクション21ガイドライン2017年版でもこうした方向性が示されています。

環境コミュニケーション大賞は今年度で22回目を迎えます。ESG投資の拡大などによって、企業が開示する環境情報は、ステイクホルダーとのコミュニケーションやエンゲージメントなどでより重要な役割を果たすようになってきています。本賞への参加は、開示情報を時代のニーズに対応させ、その有効性を高めるとも良い機会だと思います。より多くの企業の皆様にご応募いただき、これからの環境コミュニケーションについて共に考える機会にいただければ幸いです。

《お問い合わせ》

第22回環境コミュニケーション大賞事務局（株式会社ダイナックス都市環境研究所内）

E-mail：eco-com22@dynax-eco.com TEL：03-3580-8221

担当：小池・北本・鈴木・佐久間